

聴こえをよくして楽しい生活を

～難聴チェックと補聴器の正しい使用法～

東北大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科 講師 本藏陽平

音は、空気の振動として耳に届くと電気信号に変換された後に、脳に伝わります。電気信号に変換するために必要な耳の有毛細胞はヒトでは約3000個しかなく、生涯同じ細胞を使い続けるうえに、障害を受けても再生できないという困った性質があります。そのため、基本的には難聴の改善は困難であり、また加齢に伴う難聴は誰にでも生じます。

近年、高齢者の難聴と認知症に関連があることが明らかになりました。そこで、健康長寿のために聞こえを良くして生活することが推奨されています。一方、難聴はゆっくり進行するため難聴であることに気づかずに生活している方も多いようです。つまり、難聴に早期に気づき、そして適切に補聴器を使用することがとても大切です。

加齢に伴う難聴について難聴の予防法からチェック方法、そして補聴器の正しい使用法まで含めて解説いたします。

会場のご案内 東北医科薬科大学 福室キャンパス 医学部教育研究棟 3階 プラタナスホール

宮城県仙台市宮城野区福室一丁目15番1号

※東北医科薬科大学病院とは異なる建物になります。ご注意ください。



JR仙石線利用
陸前高砂駅下車
徒歩7分

仙台市営バス
仙台アイリス青葉ビル前 50番のりば
東北医科薬科大学病院入口下車
徒歩3分

宮城交通バス
仙台アイリス青葉ビル前 50番のりば
陸前高砂駅下車
徒歩7分

公共交通機関でのご来場をお願い申し上げます